

令和3年度以降使用教科用図書 中学校用

種目	発行者略称	採択理由
国語	東書	共通の流れで学習の道筋が示されており、各教材で身につけさせる言語活動の場面に即した具体的な内容が明示されている。他の教材や他教科の学習、実生活の様々な場面でも生かせる汎用性を備えたものとなっている。
書写	教出	見開きを基本としたレイアウトになっており、左側の紙面で学習ステップを追いながらポイントを確認められる構成になっている。学習手順がわかるように示されており、「どのように学ぶのか」の見通しがもてる。
社会 (地理的分野)	帝国	章の初めに「単元を貫く問い」を明示することで、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。毎時間の初めに、学習内容を想起させ、生徒の興味・関心を高める導入資料を大きく掲載している。
社会 (歴史的分野)	帝国	1時間ごとに学習課題が設定しており、その解決へのポイントとさらにその課題を説明させる構成になっており、活用力を育成するための工夫がしてある。見開きページごとの左下に小学校での既習事項、社会科他分野との関連が記載してあり関連する学習の手引きとなっている。
社会 (公民的分野)	帝国	各部の冒頭に、イラストの導入ページを掲載し、学習内容と実社会に興味を持たせる内容となっている。各章のまとめでは、ステップ1からステップ3と段階的に自分の考えを整理したりグループで意見交換したりすることができるようになっている。
地図	帝国	地図の活用の技能を身に付けるための「地図活用」を多数に設けている。防災に関する資料を、日本の7地方全てに設置していて、詳細な地形の様子を示した地図を新設し、自然災害とその対策を考えることができるようになっている。
数学	啓林館	各単元の活用において、身の周りや数学の場面から課題を発見して、3ステップで問題解決できるようになっている。学習で使った数学的な見方・考え方を学習のまとめりに教科書の下部に示している。
理科	大日本	以前学習した内容を確認して、系統性をもたせ、さらに学習を深めていけるよう工夫してある。内容区分を示すマークがしており、学習の流れが分かりやすく見通しをもって学べる。
音楽 (一般)	教芸	教材の学習目標が明確でわかりやすく、具体的な活動目標との2段構成になっている。「何を学ぶのか」の学習目標がページ端の帯に、「具体的な学習活動」を活動文として表示してある。
音楽 (器楽合奏)	教芸	アルトリコーダーの練習ではLesson1からLesson4と運指がわかりやすく段階を追っていて、練習曲もなじみの曲で吹きやすく、楽譜が豊富である。リコーダー、ギター、箏、三味線の順で生徒になじみのある楽器から掲載し、演奏の基礎・基本を習得しやすい工夫がある。
美術	開隆堂	学習を通して学ぶ内容や魅力などが書かれ、学習の意義と方法を理解させて取り組む構成となっており、見通しをもって取り組みやすい。また、制作活動の後に関連した鑑賞題材を掲載してより深い学びにつなげる構成になっている。
保健体育	学研	「表現・思考・判断・説明・読み取り・話し合い・実習」など、様々な活用手段で例題が示されている。体育理論および保健の学習内容がバランスよく配列されているため、発達段階に応じて系統的な学習ができるようになっている。
技術・家庭 (技術分野)	東書	「最適化の窓」によって、技術を多面的に捉える工夫が取り入れられていて、各編の導入においても最適化について取り上げられている。材料と加工の単元で、写真が大きくてわかりやすく、加工法についてかなり詳しく説明されていてわかりやすい。
技術・家庭 (家庭分野)	東書	各節の始めの「考えてみよう」「やってみよう」など「活動」が数多く設定しており、主体的に調べ、友達と協力して学習していけるように工夫されている。各実習の流れが示され、見通しをもって実習に取り組むことができる。
英語	東書	小学校で学んだ内容を中学校の学習につながるようになっていて、5領域の力のバランスが鍛えられる構成である。各単元のページでスモールステップで習得したのものを、より現実的な場面でのアウトプット活動ができ、個々のアイデアや思考が広がる。
道徳	日文	生徒の生活や学校行事などをふまえた教材配列になっており、学年ごとにテーマを設定し、3年間で系統的・発展的な学習ができるようになっている。学習の3つのステップ「①気づく②考え、議論する、深める③見つめる、生かす」において考えを深めやすい。